



2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月4日

上場会社名 ザインエレクトロニクス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6769 URL <https://www.thine.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 南 洋一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 山本 武男 TEL 03 (5217) 6660
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	3,171	42.0	338	—	503	—	410	—
2020年12月期第3四半期	2,234	△33.2	△374	—	△402	—	△328	—

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 488百万円 (—%) 2020年12月期第3四半期 △385百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2021年12月期第3四半期	円 銭 38.00	円 銭 —
2020年12月期第3四半期	△30.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2021年12月期第3四半期	百万円 9,547	百万円 8,712	% 88.9
2020年12月期	8,786	8,300	92.2

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 8,488百万円 2020年12月期 8,103百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2020年12月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 9.00	円 銭 9.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,382	52.2	411	—	579	—	467	—	43.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期3Q	12,340,100株	2020年12月期	12,340,100株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	1,530,037株	2020年12月期	1,530,037株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期3Q	10,810,063株	2020年12月期3Q	10,810,066株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済環境は、東京五輪閉幕後に新型コロナウイルス感染症の影響が再拡大する中、感染者数が急増し個人消費の落ち込みが見られました。また半導体不足等による影響も企業収益を悪化させ、経済活動の停滞が懸念され先行きの不透明感が継続しております。

このような環境の下で、当社グループは前期より開始した2022年を目標年次とする中期経営戦略「5G&Beyond」を進めております。5GおよびBeyond5Gも視野においた戦略5ゴールを設定し、それらを通じた成長ユースケースで生み出す粗利金額の倍増を目標とし、また更に戦略5ゴール目標を超えた長期成長に向けたスマート・コネクティビティによるソリューションの提供に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、LSI事業では主に国内および中国市場を中心とした海外市場向けにおいて急速な回復と成長を実現し、前期比93%の増加（新型コロナウイルス感染症拡大の影響以前の前々期比でも8%の増加）となりました。一方、AIOT事業では一部顧客向けの製品出荷の後倒しや計画の見直し等の影響により当初の見込みを下回って推移しました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、31億71百万円（前期比42.0%増）となり、売上総利益は18億35百万円（前期比62.6%増）となりました。

販売費および一般管理費については、前期より引き続き新しい市場のニーズに対応するための積極的な研究開発投資（5億97百万円、前期比0.8%減）を行う一方で、リモート勤務導入等により本年1月から本社オフィス面積の約4割削減等をはじめとするコスト削減を進めた結果、販売費および一般管理費全体として、14億97百万円（前期比0.5%減）となりました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間の営業損益は営業利益3億38百万円（前年同期は営業損失3億74百万円）となりました。

また為替相場が前期末比で円安に推移したため、保有する主に現預金等の外貨建て資産の換算差益として為替差益1億60百万円を計上したこと等により、経常損益は経常利益5億3百万円（前年同期は経常損失4億2百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益4億10百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失3億28百万円）となりました。

(セグメント別の状況)

当社グループは、LSI事業とAIOT事業を軸として事業活動を推進しており、これらを事業セグメント区分としております。

(単位：百万円)

		2021年12月期 第3四半期	2020年12月期 第3四半期	増減率 (%)
LSI事業	売上高	2,393	1,238	93.3
	営業利益	391	△340	—
AIOT事業	売上高	778	995	△21.8
	のれん償却前 営業利益	45	63	△80.0
	営業利益	△52	△34	—
合計	売上高	3,171	2,234	42.0
	営業利益	338	△374	—

(LSI事業)

当第3四半期連結累計期間のLSI事業の売上高は、厳しい環境下ながらも営業と生産を一体とした事業運営の下、前期の落ち込みから急速に回復し、計画を上回る成長を実現しました。成長トレンドにある産業機器市場および車載市場での成長もあり、新型コロナウイルス感染症拡大以前の2019年（前々期）と比較しても8%の成長を実現することができました。

産業機器市場向けビジネスは、前期苦戦したOA機器向けおよびアミューズメント機器向けの製品出荷が厳しい環境下ながらも大幅に改善しました。また、海外市場向けにおける産業機器市場のトレンドを捉え、中国・台湾・韓国等のアジア市場および北米市場向けの出荷が好調な伸展となった他、グローバルECサイトを活用した小型4Kカメラ等のキット製品（新規設計不要で直ちに使用可能な製品）を販売しました。これらの結果、同市場向けの売上高は、LSI事業の売上全体の63%を占め、前期比では102%増と大幅に増加しました。

車載機器市場向けビジネスは、LSI事業の売上全体の25%を占めております。国内市場およびEV化が進む中国市場を中心とした海外市場向けの車載純正品市場およびアフター市場向けともに当社の高速情報伝送用LSI製品の出荷が増加し、前期比86%の大幅な増加となりました。

民生機器市場向けビジネスは、LSI事業の売上全体の12%を占めております。主にアジア市場向けの製品出荷が堅調に推移したことに加え、中国の高精細テレビ市場向けに当社独自技術V-by-One[®]HS技術のライセンス料収入を得

ることができたこと等により前期比55%の増加となりました。

これらの結果、LSI事業全体の売上高は23億93百万円（前期比93%増、前々期比でも8%増）、売上総利益は15億29百万円（前期比95%増、前々期比でも10%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間においては、前期より引き続き新しい市場ニーズに対応した研究開発を積極的に実施しました。車載カメラ、医療用カメラ、認証用カメラ等のニーズに対応するための高速インターフェースV-by-One[®]HS新製品ラインアップや同技術を活用した画像処理ソリューションの開発、5Gを遥かに超える次世代高速無線通信技術の開発等を行い、研究開発費5億45百万円を計上しました。

これらの結果、LSI事業の当第3四半期連結累計期間における営業利益は3億91百万円（前年同期は営業損失3億40百万円）となりました。

（AIOT事業）

当第3四半期連結累計期間のAIOT事業の売上高は、一部の顧客向けの製品出荷の後倒しや計画見直し等により通信モジュール製品の出荷が計画を下回って推移した一方、昨年より継続してゲート型やサイネージ型の非接触型AI顔認証検温システムを販売し、新たに新型コロナワクチン対応のIoT温度監視システムの販売を開始しました。これらの結果、AIOT事業の売上高は7億78百万円（前期比21.8%減）、売上総利益は3億6百万円（前期比11%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間においては、AI・IoTを活用する新ニーズの拡大や第5世代移動通信（5G）による新しいアプリケーション市場の拡大を見据えたAI・IoTソリューションの開発に取り組み、エッジAI処理用モジュール製品の開発、新型コロナワクチン対応IoT温度監視システム開発や通信型ドライブレコーダなどに向けた研究開発を行い、全体として研究開発費52百万円を計上いたしました。また、同事業のM&A取得に伴うのれんの償却額として97百万等を計上しました。

これらの結果、AIOT事業の当第3四半期連結累計期間における営業損失は52百万円（前年同期は営業損失34百万円）となりました。なお、前述ののれん償却前の営業利益は45百万円（前年同期はのれん償却前営業利益63百万円）となります。

※「V-by-One」はザインエレクトロニクス株式会社の登録商標です。

（2）財政状態に関する説明

（キャッシュ・フローの状況）

当第3四半期連結累計期間における、営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、税金等調整前四半期純利益を5億39百万円計上した一方、売上債権が2億58百万円増加したことおよび棚卸資産が1億60百万円増加したこと等により2億97百万円のプラスとなりました。（前年同期は2億77百万円のマイナス）

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、投資有価証券の売却による収入等により5億15百万円のプラスとなりました。（前年同期は21億35百万円のプラス）

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、配当金の支払等により96百万円のマイナスとなりました。（前年同期は97百万円のマイナス）

これらの結果により、現金及び現金同等物は全体として8億78百万円増加して当第3四半期連結会計期間末残高は76億10百万円となりました。当社グループとしては、機動的な研究開発リソースの確保やM&Aの機会に迅速に対応できるよう内部留保を厚くする方針であり、資金運用に関しても流動性を重視した運用を行うこととしております。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の連結業績予想については、2021年10月27日に公表しました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,732,242	7,610,572
売掛金	352,701	613,350
商品及び製品	183,198	250,946
仕掛品	62,953	145,918
原材料	70,313	80,097
その他	315,840	294,424
流動資産合計	7,717,251	8,995,311
固定資産		
有形固定資産	112,782	101,281
無形固定資産		
のれん	391,018	293,264
その他	6,400	5,808
無形固定資産合計	397,419	299,072
投資その他の資産		
投資有価証券	457,803	52,846
繰延税金資産	19,136	16,491
その他	82,161	82,584
投資その他の資産合計	559,101	151,922
固定資産合計	1,069,303	552,277
資産合計	8,786,554	9,547,588
負債の部		
流動負債		
買掛金	119,727	342,951
未払法人税等	2,629	127,945
賞与引当金	2,157	82,428
製品保証引当金	2,418	2,418
その他	228,274	148,115
流動負債合計	355,207	703,860
固定負債		
退職給付に係る負債	19,052	20,244
資産除去債務	26,119	26,281
その他	85,862	84,334
固定負債合計	131,035	130,860
負債合計	486,242	834,720
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,175,267	1,175,267
資本剰余金	1,286,608	1,286,608
利益剰余金	7,954,809	8,268,336
自己株式	△2,291,902	△2,291,902
株主資本合計	8,124,781	8,438,309
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△68,396	—
為替換算調整勘定	47,366	50,591
その他の包括利益累計額合計	△21,030	50,591
新株予約権	167,235	186,987
非支配株主持分	29,323	36,979
純資産合計	8,300,311	8,712,867
負債純資産合計	8,786,554	9,547,588

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上高	2,234,004	3,171,753
売上原価	1,105,068	1,335,971
売上総利益	1,128,936	1,835,782
販売費及び一般管理費	1,503,936	1,497,068
営業利益又は営業損失(△)	△374,999	338,713
営業外収益		
受取利息	5,542	1,128
受取配当金	12,934	969
為替差益	—	160,637
投資事業組合運用益	9,631	—
雑収入	16,911	3,531
営業外収益合計	45,019	166,267
営業外費用		
為替差損	72,076	—
投資事業組合運用損	—	981
雑損失	77	135
営業外費用合計	72,153	1,116
経常利益又は経常損失(△)	△402,133	503,864
特別利益		
投資有価証券売却益	99,093	27,067
新株予約権戻入益	36	8,538
特別利益合計	99,129	35,605
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△303,003	539,470
法人税、住民税及び事業税	6,949	119,481
法人税等調整額	6,173	2,644
法人税等合計	13,123	122,126
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△316,126	417,344
非支配株主に帰属する四半期純利益	12,736	6,525
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△328,862	410,818

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△316,126	417,344
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△66,620	68,396
為替換算調整勘定	△2,507	3,225
その他の包括利益合計	△69,128	71,621
四半期包括利益	△385,255	488,965
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△397,772	481,310
非支配株主に係る四半期包括利益	12,517	7,655

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△303,003	539,470
減価償却費	31,100	20,847
のれん償却額	97,754	97,754
株式報酬費用	35,066	27,090
新株予約権戻入益	△36	△8,538
賞与引当金の増減額(△は減少)	△32,737	80,270
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1,575	1,192
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,977	—
投資事業組合運用損益(△は益)	△9,631	981
投資有価証券売却損益(△は益)	△99,093	△27,067
受取利息及び受取配当金	△18,477	△2,098
支払利息	66	135
為替差損益(△は益)	53,299	△147,162
売上債権の増減額(△は増加)	527,453	△258,421
たな卸資産の増減額(△は増加)	△118,560	△160,747
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△167,460	△40,544
仕入債務の増減額(△は減少)	△132,804	219,081
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△69,148	△62,316
その他	△2,531	204
小計	△221,297	280,132
利息及び配当金の受取額	19,437	2,147
利息の支払額	△66	△135
法人税等の支払額	△75,487	△17,832
法人税等の還付額	—	33,483
営業活動によるキャッシュ・フロー	△277,414	297,795
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△17,558	△6,707
資産除去債務の履行による支出	—	△7,546
敷金の差入による支出	△1,003	△192
敷金の回収による収入	1,206	30,923
投資有価証券の売却による収入	2,118,087	482,017
投資有価証券の償還による収入	6,784	3,876
投資事業組合からの分配による収入	30,195	13,200
その他	△1,958	△135
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,135,752	515,436
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△97,290	△97,290
その他	△161	1,015
財務活動によるキャッシュ・フロー	△97,451	△96,275
現金及び現金同等物に係る換算差額	△61,116	161,373
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,699,770	878,330
現金及び現金同等物の期首残高	5,329,928	6,732,242
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,029,698	7,610,572

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。